

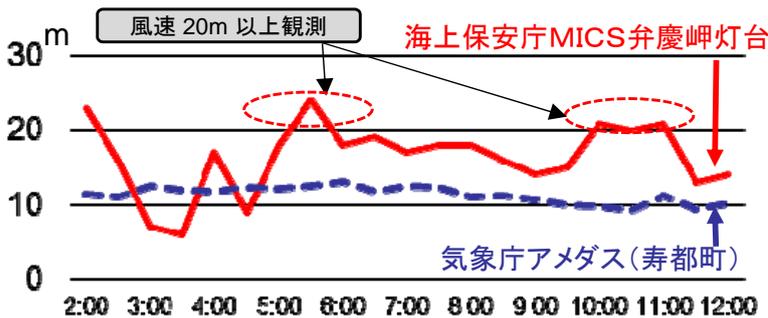
## 6月にプレジャーボートで5名の死亡・行方不明者が発生！ ～命を守るための情報活用と出港中止判断について～

6月7日(土)に岩内町敷島内(雷電国道)沖合いにおいて、4名乗りのプレジャーボートが転覆して3名が死亡し1名が行方不明となりました。また、同日、石狩湾港沖合いにおいて1名乗りのプレジャーボート(組み立て式)が帰港せず、その後に船体の一部と思われる物が見つかりましたが乗船者は行方不明となっています。

上記の事故原因については調査中ですが、一般的にプレジャーボート等の小型船舶は、気象・海象の影響を受けやすく、安易に沖合いに出してしまうと風浪による転覆や浸水または圧流により沖合いへ流される危険性があり、小型船舶検査・操縦資格が不要のいわゆるミニボートは、特に危険性が高くなります。

岩内町沖プレジャーボート転覆位置付近の気象庁アメダスの寿都町観測地点では、10メートル前後の風速が観測され、局地的に寿都町にのみ強風注意報が発表されていました。

さらに同日午前中の気象について、気象庁アメダスの寿都町観測地点と海上保安庁沿岸域情報提供システム(MICS)の弁慶岬灯台の風速データを比較すると下のグラフのとおりとなっています。



6月7日(土)午前中の風速データ



海上保安庁の気象観測は、岬の灯台など局地的な観測となっており、風向によっては、沖合いに近いデータが得られます。6月7日の風速は、20メートルを超えるデータを観測しており、沖合いでは強い風が吹いていたと考えられます。

船舶運航者は、出港前や出港後においても海域周辺の気象・海象の情報収集を行い、出港中止や帰港の正しい判断を行うことが命を守るために必要です。

MICSホームページでは、海上保安庁が観測する局地的な気象情報を30分毎に情報を更新し、灯台に設置したライブカメラ映像を提供しており、また、気象庁発表の警報・注意報・海上警報も掲載しています。(携帯ページのライブカメラは静止画での提供です。)

MICSの「緊急情報メール配信サービス」では、気象庁発表の警報・注意報・海上警報、台風等に伴う船舶の避難に関する勧告など緊急にお知らせする安全情報を電子メールで配信しています。

「緊急情報メール配信サービス」は、事前登録することで利用でき、ユーザーが選択した地域や必要情報がメールで配信されますので、外出先でも緊急情報をいち早く入手できます。船舶運航者は、登録をお願いします。登録料・情報料は無料です。

登録は右のコードまたは、検索サイトで「MICS」を入力し検索して下さい。

MICS で 検索

気象現況

ライブカメラ

気象観測データ推移

気象庁警報等発表状況

お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2615, 2616)

MICSホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>



海難隻数及び海難による死者・行方不明者数 (速報値)

5月	15隻、0人
平成26年累計	32隻、3人